



C_1 と C_2 の交点 A, B の x 座標をそれぞれ α , β ($\alpha < \beta$) とする。

(1) C_1 と C_2 の方程式から y を消去して

$$x^2 + \left(kx^2 - \frac{5}{2}\right)^2 = 4$$

$$4k^2x^4 - 4(5k-1)x^2 + 9 = 0$$

この4次方程式の解が $\pm\alpha$, $\pm\beta$ であるから、 X の2次方程式 $4k^2X^2 - 4(5k-1)X + 9 = 0$ の2つの解が α^2 , β^2 である。

したがって、 $\alpha^2 + \beta^2 = \frac{5k-1}{k^2}$, $\alpha^2\beta^2 = \frac{9}{4k^2}$ となる。 α , β は正であるから、 $\alpha\beta = \frac{3}{2k}$ である。

また、直線 AB の傾きは $k(\alpha + \beta)$ であるから、

$$\begin{aligned} AB^2 &= \{1 + k^2(\alpha + \beta)^2\}(\beta - \alpha)^2 \\ &= \{1 + k^2(\alpha^2 + \beta^2 + 2\alpha\beta)\}(\alpha^2 + \beta^2 - 2\alpha\beta) \\ &= \left\{1 + k^2\left(\frac{5k-1}{k^2} + 2 \cdot \frac{3}{2k}\right)\right\} \left(\frac{5k-1}{k^2} - 2 \cdot \frac{3}{2k}\right) \\ &= 8k \cdot \frac{2k-1}{k^2} \\ &= 8\left(2 - \frac{1}{k}\right) \end{aligned}$$

となるから、線分 AB の長さは $2\sqrt{2}\sqrt{2 - \frac{1}{k}}$ である。

(2) $\angle AOB = \frac{5}{6}\pi$ のとき、余弦定理より

$$\begin{aligned} AB^2 &= 4 + 4 - 2 \times 2 \times 2 \times \cos \frac{5}{6}\pi \\ &= 8 + 4\sqrt{3} \end{aligned}$$

であり、これと (1) の結果から、

$$8 \left(2 - \frac{1}{k}\right) = 8 + 4\sqrt{3}$$

である。

よって $k = 2(2 + \sqrt{3})$ である。

(3) $a = 2(2 + \sqrt{3})$ とおくと、 $\alpha^2 + \beta^2 = \frac{5a-1}{a^2}$ 、 $\alpha\beta = \frac{3}{2a}$ である。

直線 AB の方程式を $y = mx + n$ (m, n は定数) として、

$$\begin{aligned} S &= 4\pi \times \frac{5}{6}\pi \div 2\pi - \frac{1}{2} \times 2^2 \times \sin \frac{5}{6}\pi - \int_{\alpha}^{\beta} \left\{ (mx + n) - \left(ax^2 - \frac{5}{2}\right) \right\} dx \\ &= \frac{5}{3}\pi - \sqrt{3} + a \int_{\alpha}^{\beta} (x - \alpha)(x - \beta) dx \\ &= \frac{5}{3}\pi - \sqrt{3} - \frac{a}{6}(\beta - \alpha)^3 \end{aligned}$$

となる。

ここで、 $(\beta - \alpha)^2 = \frac{2a-1}{a^2}$ であり、 $\beta - \alpha > 0$ より、 $\beta - \alpha = \frac{1}{a}\sqrt{2a-1}$ である。

よって

$$\begin{aligned} S &= \frac{5}{3}\pi - \sqrt{3} - \frac{a}{6} \cdot \frac{1}{a^3} \sqrt{2a-1}^3 \\ &= \frac{5}{3}\pi - \sqrt{3} - \frac{1}{6a^2} \sqrt{2a-1}^3 \\ &= \frac{5}{3}\pi - \sqrt{3} - \frac{1}{24(2+\sqrt{3})^2} \cdot \sqrt{4(2+\sqrt{3})-1}^3 \\ &= \frac{5}{3}\pi - \sqrt{3} - \frac{1}{24(2+\sqrt{3})^2} \cdot (2+\sqrt{3})^3 \\ &= \frac{5}{3}\pi - \sqrt{3} - \frac{1}{24}(2+\sqrt{3}) \\ &= \frac{5}{3}\pi - \frac{25}{24}\sqrt{3} - \frac{1}{12} \end{aligned}$$

である。